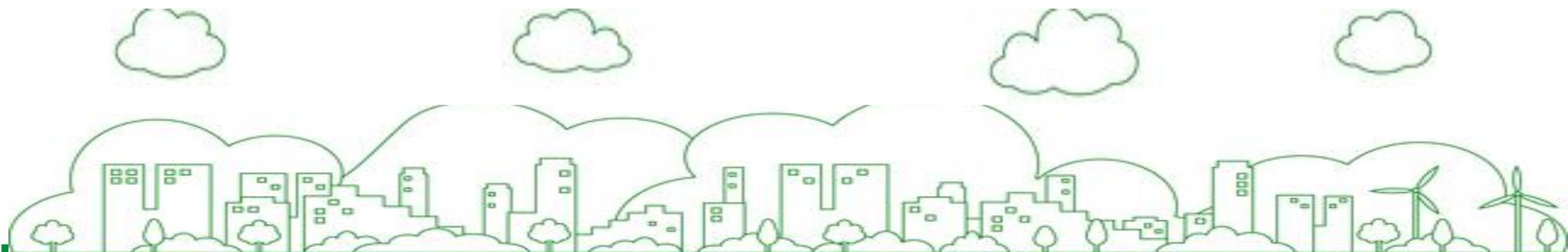


公共施設再編に関する市長との意見交換会

四條畷市 総務部 施設再編室



平成30年11月2日~12日

本日のスケジュール

四條畷市では
市民みなさんと

公共施設の再編

について考えていきたい
と思っています。

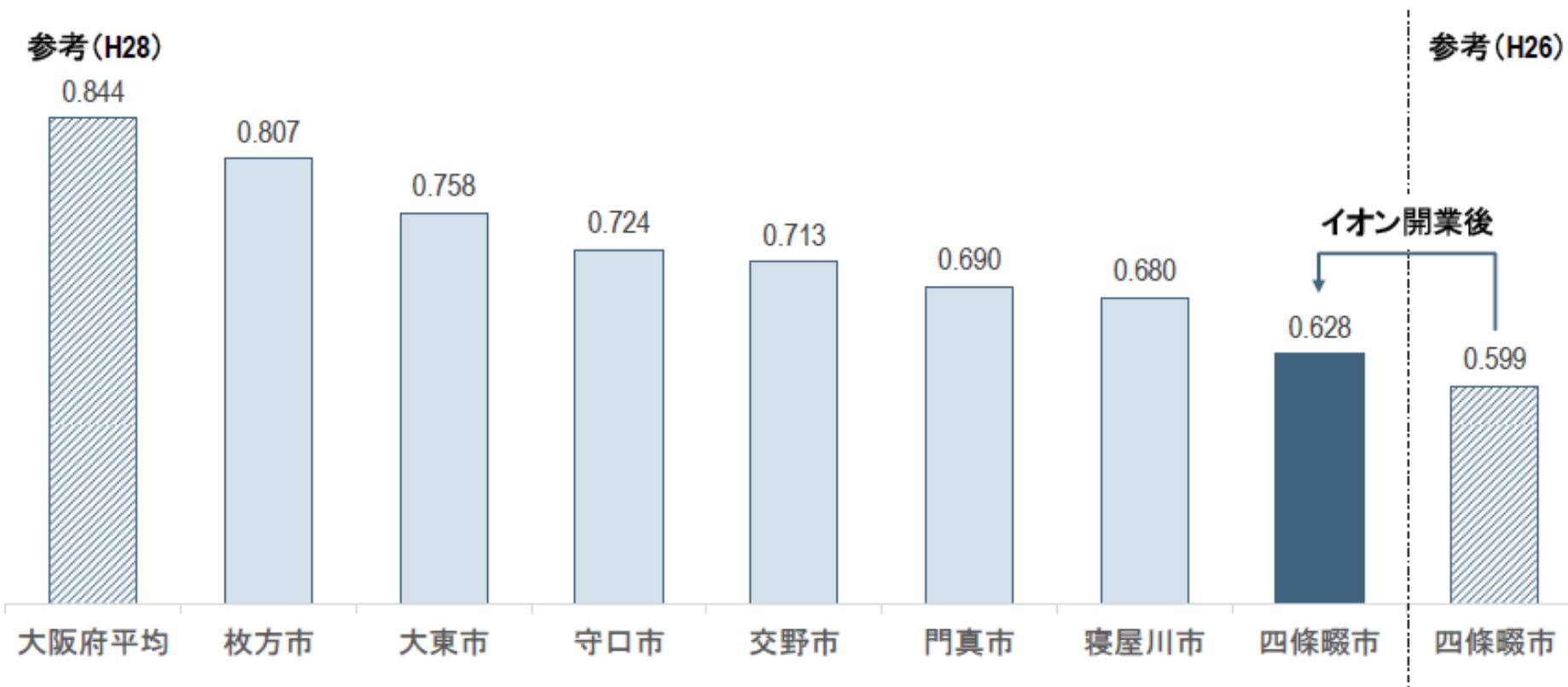


本日お話しすること

- 1 四條畷市の財政状況
- 2 2050年の四條畷市は？
- 3 公共施設の現状は？
- 4 公共施設再編に向けた取組み
- 5 市民みなさんと一緒に考えたいこと

自治体の財政力を表す“財政力指数”が低いことが、本市の弱みの1つ

財政力指数の比較(平成29年度:単年度)

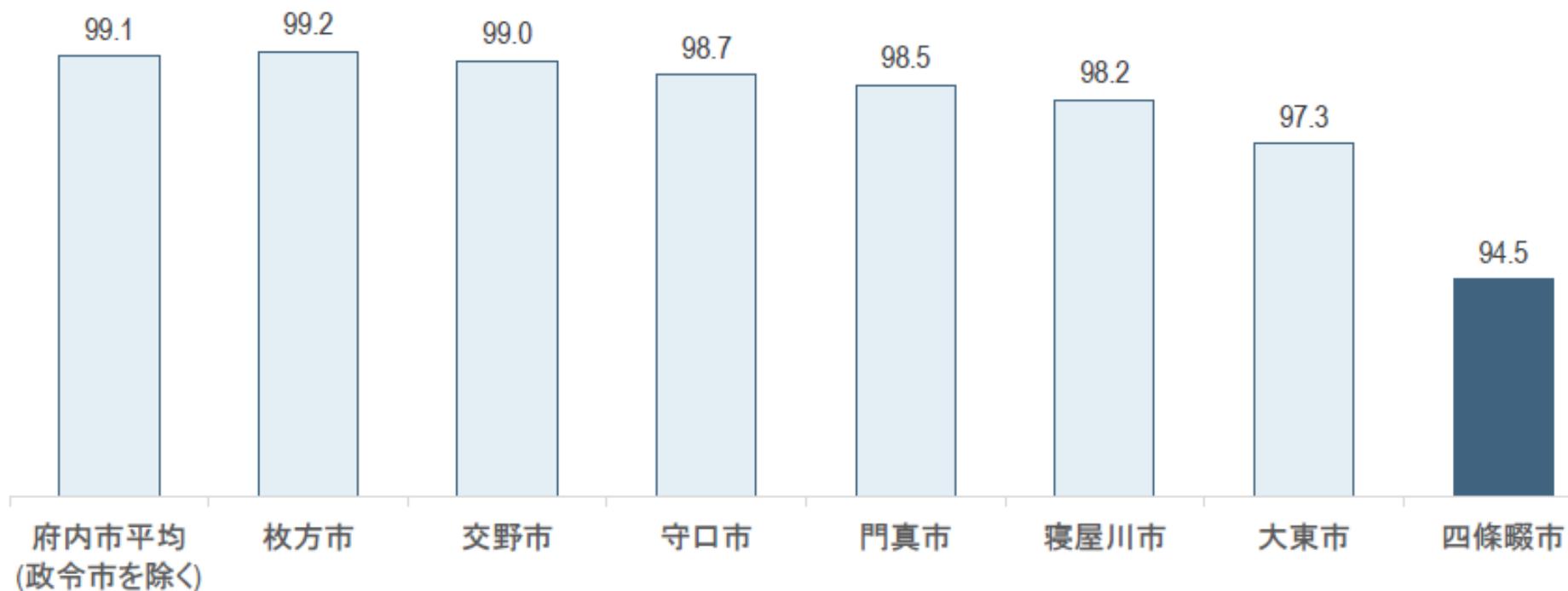


財政力指数: 地方公共団体の財政力を示す指数で、基準財政収入額を基準財政需要額で除して得た数値。
 財政力指数が高いほど、普通交付税算定上の留保財源が大きいことになり、財源に余裕があるといえる

市職員の人件費は、他市と比べて大きく抑えられている状況

人件費

ラスパイレス指数の比較(平成29年4月1日時点)



ラスパイレス指数: 国家公務員行(一)の俸給月額を100とした場合の地方公務員一般行政職の給与水準

市の職員数についても、類似団体と比較して少ない

人口1万人あたり職員数の比較(平成29年4月1日時点)

職員数

順位	市名	職員数(人)
1	牛久(茨城)	37.75
2	宗像(福岡)	39.12
⋮	⋮	⋮
17	鶴ヶ島(埼玉)	52.38
18	四條畷(大阪)	52.66
19	小郡(福岡)	52.88
⋮	⋮	⋮
83	浜田(島根)	108.85
84	七尾(石川)	115.65

類似団体:

全市区町村を指定都市、中核市、特例市、特別区、その他の一般市、町村に区分し、下表のとおり人口と産業構造に応じ、一般市を16類型に、区分されたグループ。

産業構造	II次、III次産業 90%以上		II次、III次産業 90%未満		
	III次 65%以上	III次 65%未満	III次 55%以上	III次 55%未満	
人口 (人)	0-5万未満	I-3	I-2	I-1	I-0
	5-10万未満	II-3	II-2	II-1	II-0
	10-15万未満	III-3	III-2	III-1	III-0
	15万以上	IV-3	IV-2	IV-1	IV-0

人件費・公債費の減少が、今後は見込めない状況

基金残高と主要な義務的経費(人件費・公債費)の推移(億円、普通会計)

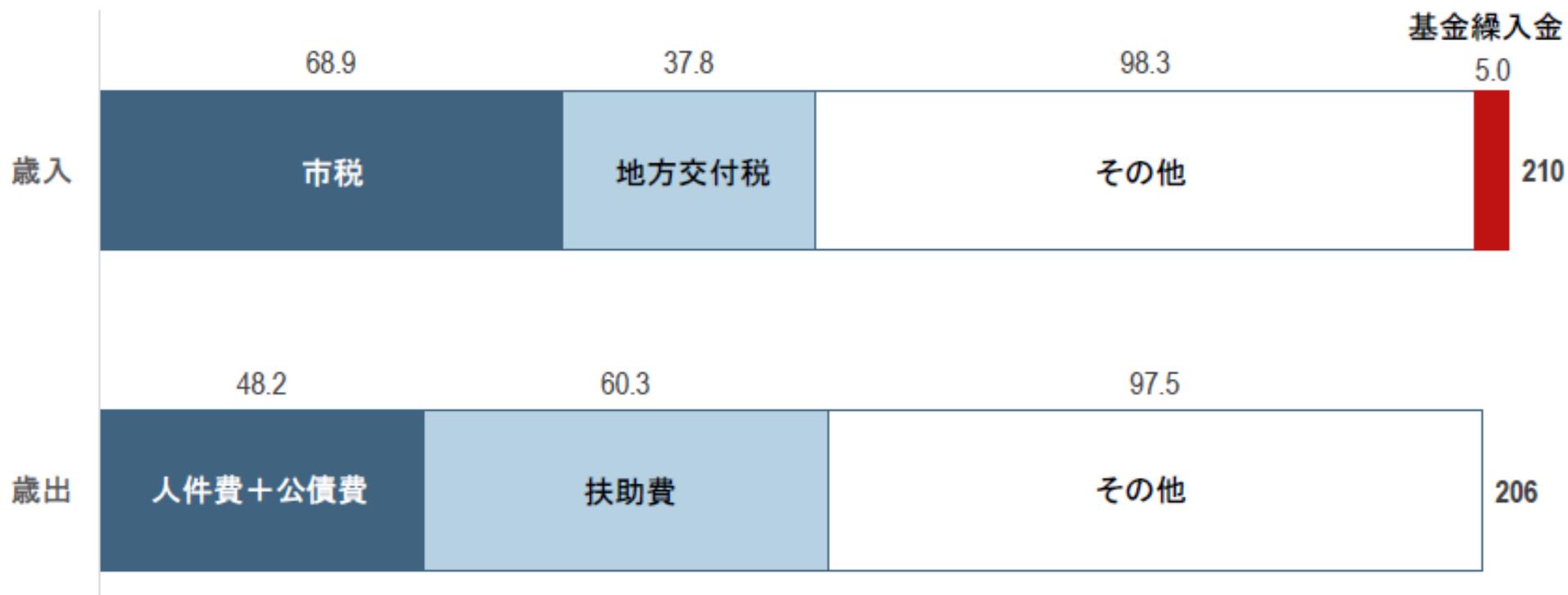
基金残高


1. 四條畷市の財政状況

財政調整基金5億円を繰入れなければ、1億円の實質赤字

財政調整基金の繰入額

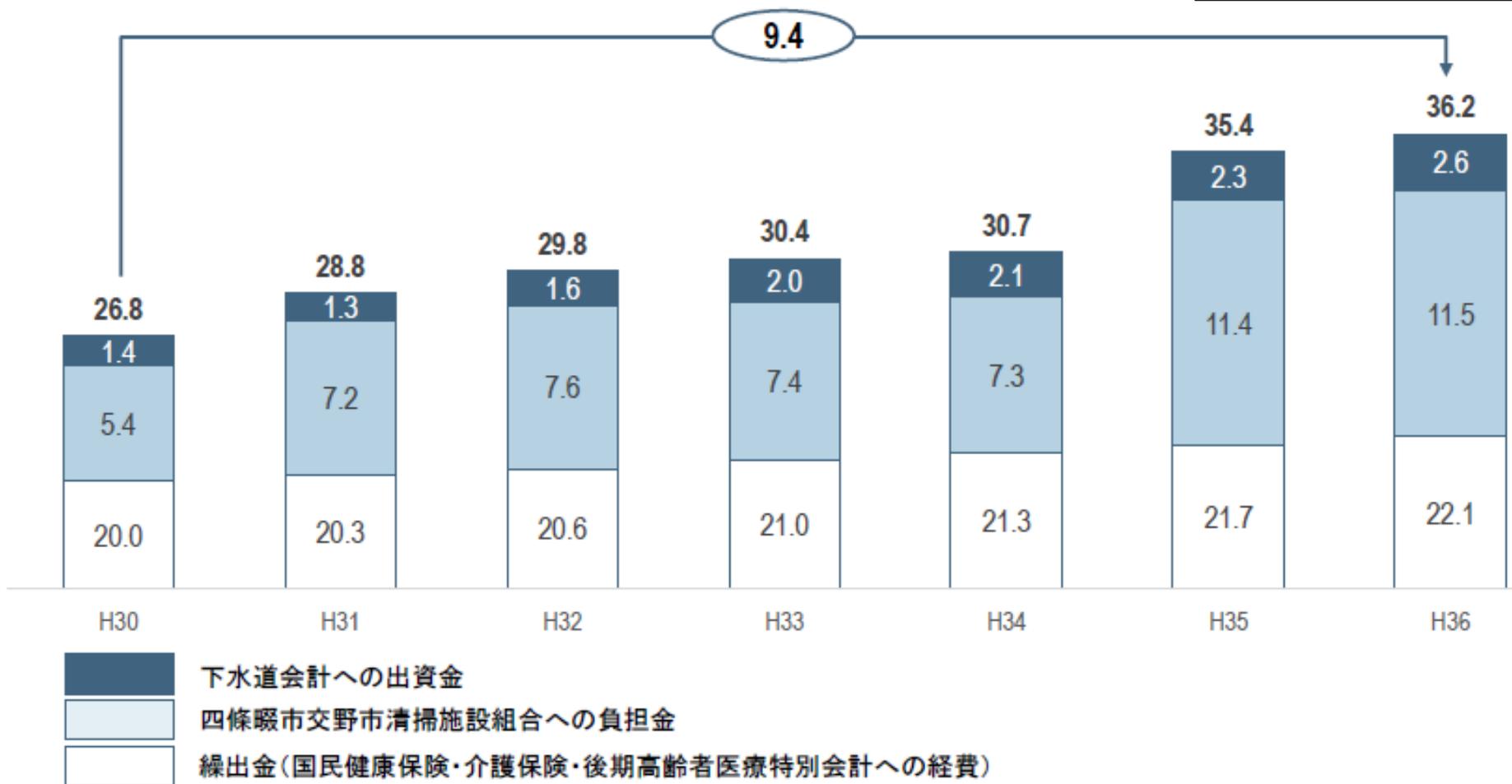
平成29年度一般会計決算(億円)



過去の下水道整備・新ごみ処理施設・高齢化等により、今後歳出は急増

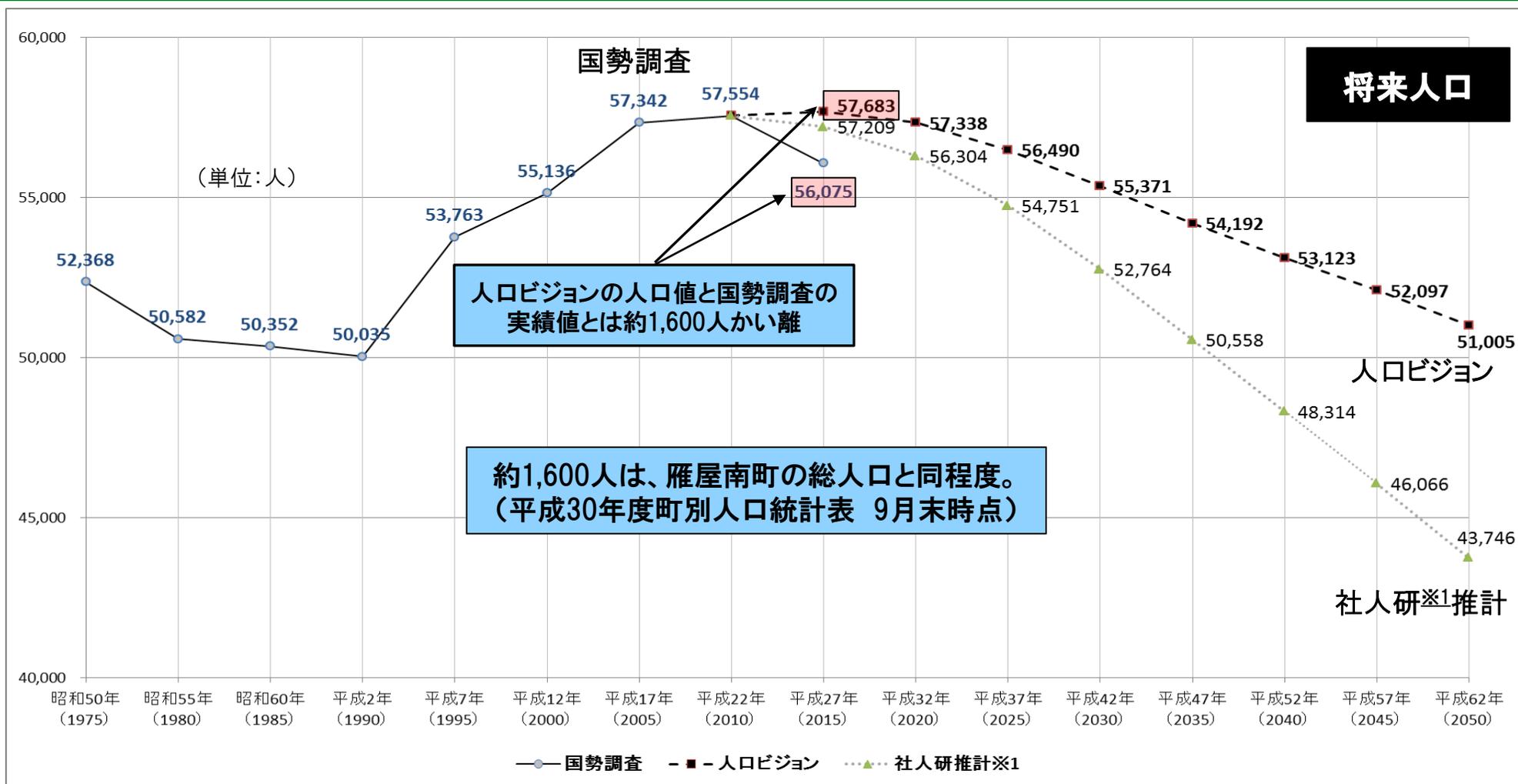
今後の増加が見込まれる費用見込額(億円)

今後の歳出増の要因



2. 2050年の四條畷市は？

2050年目標人口を51,005人に掲げているも毎年減少



人口ビジョン:本市の人口動態の現状や地域特性などを分析し、めざすべき将来の方向と人口の将来展望を示したもの。

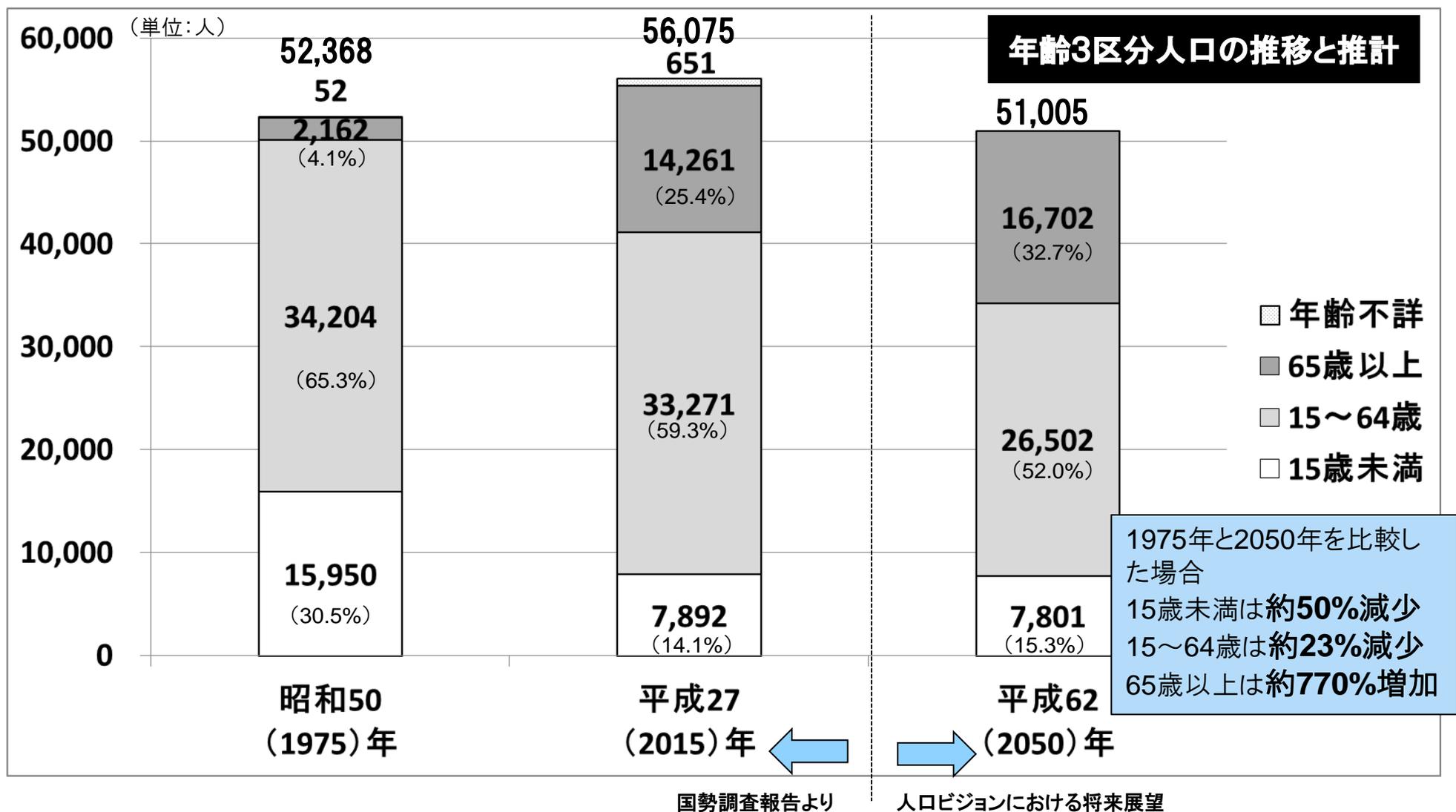
社人研推計:国勢調査による人口を基礎として、過去の傾向に基づいて推計したもの。

※1 国立社会保障・人口問題研究所

参照:総務省統計局「国勢調査報告」
四條畷市人口ビジョン(平成27年10月策定)

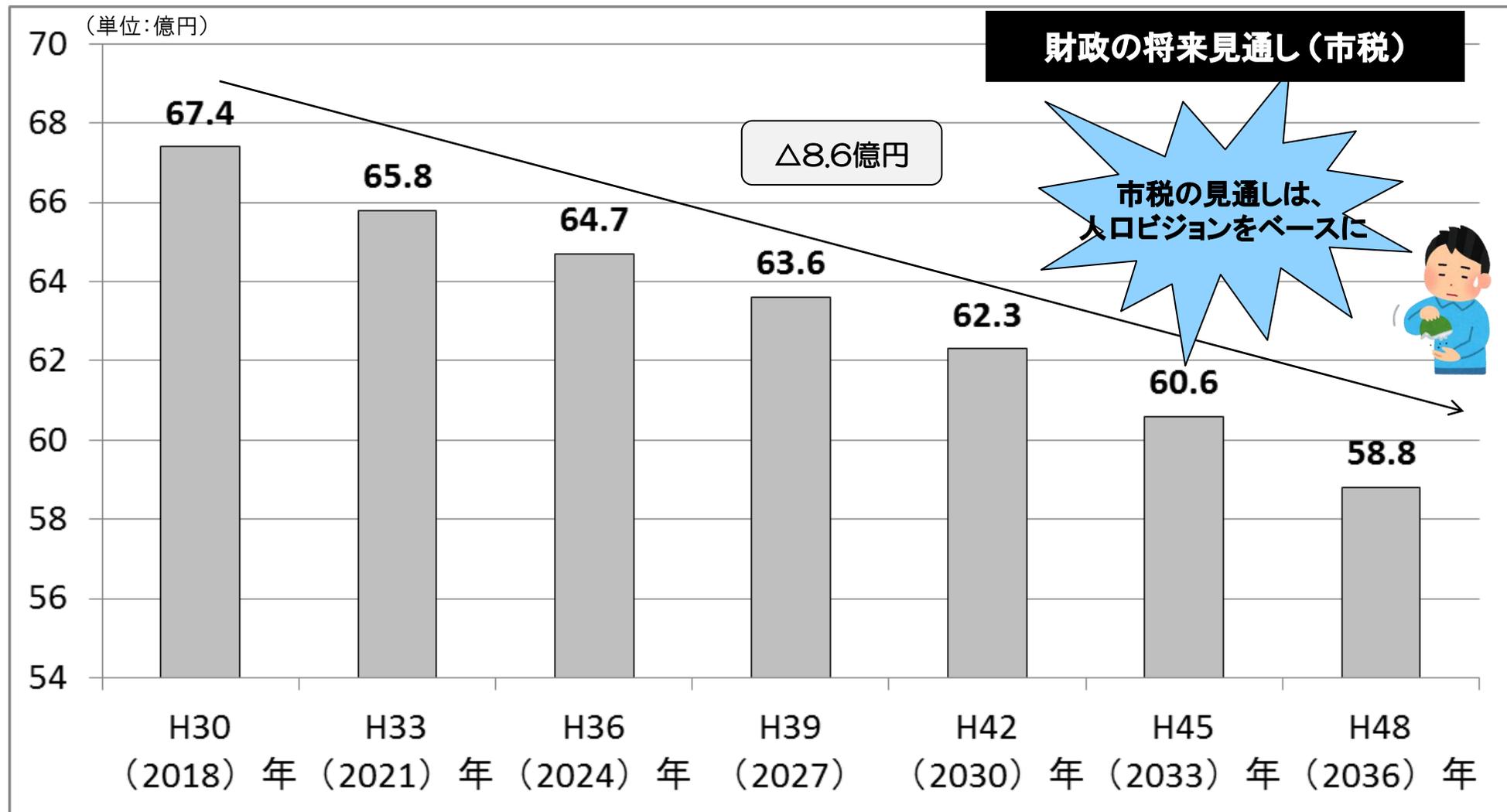
2. 2050年の四條畷市は？

生産年齢人口(15～64歳)が減少し、老年人口(65歳以上)は増加



2. 2050年の四條畷市は？

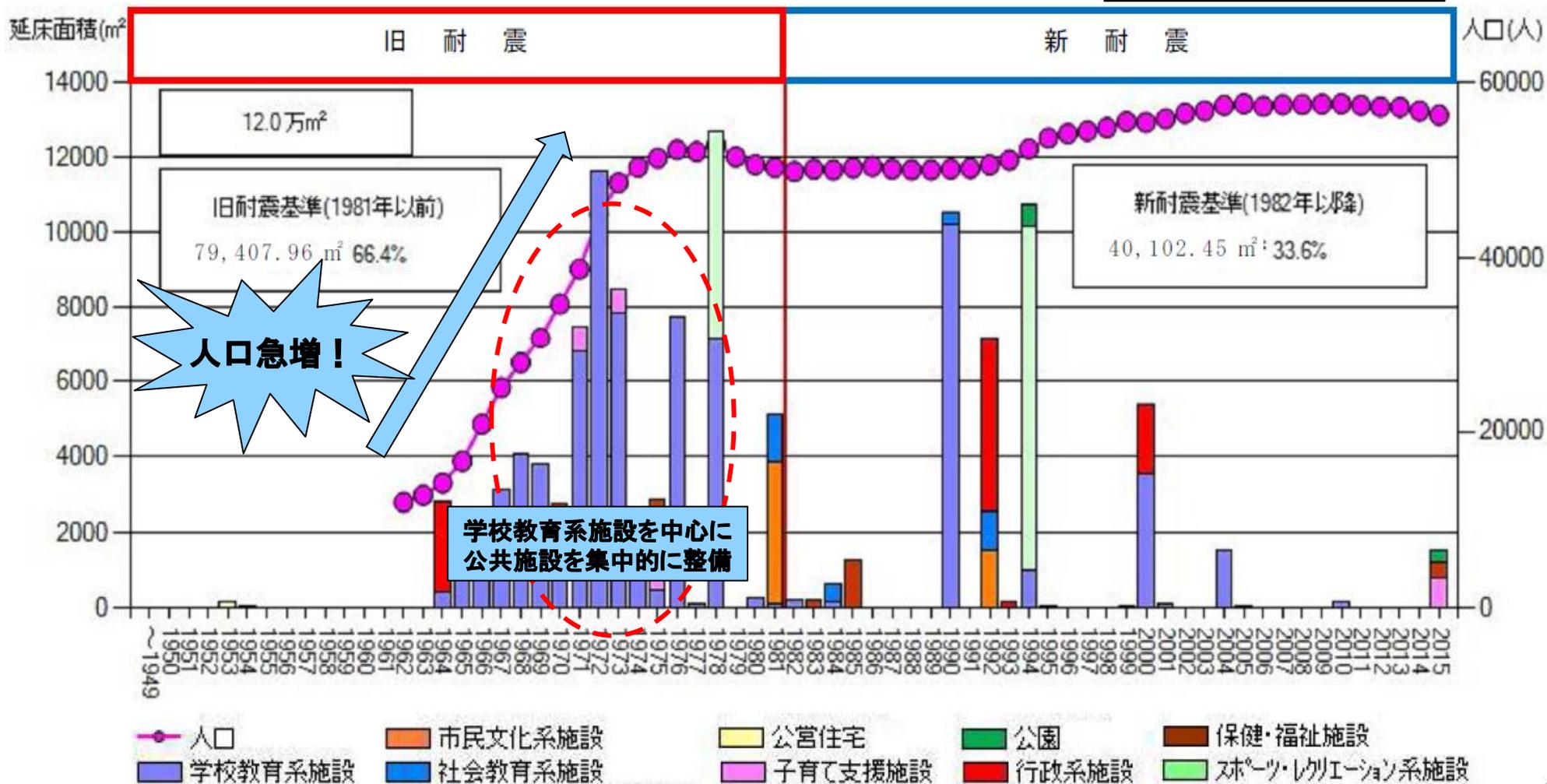
生産年齢人口(15~64歳)が減少するため、市税収入は大きく減少



3. 公共施設の現状は？

1960年代後半～1970年代に整備してきた施設の更新時期を迎える

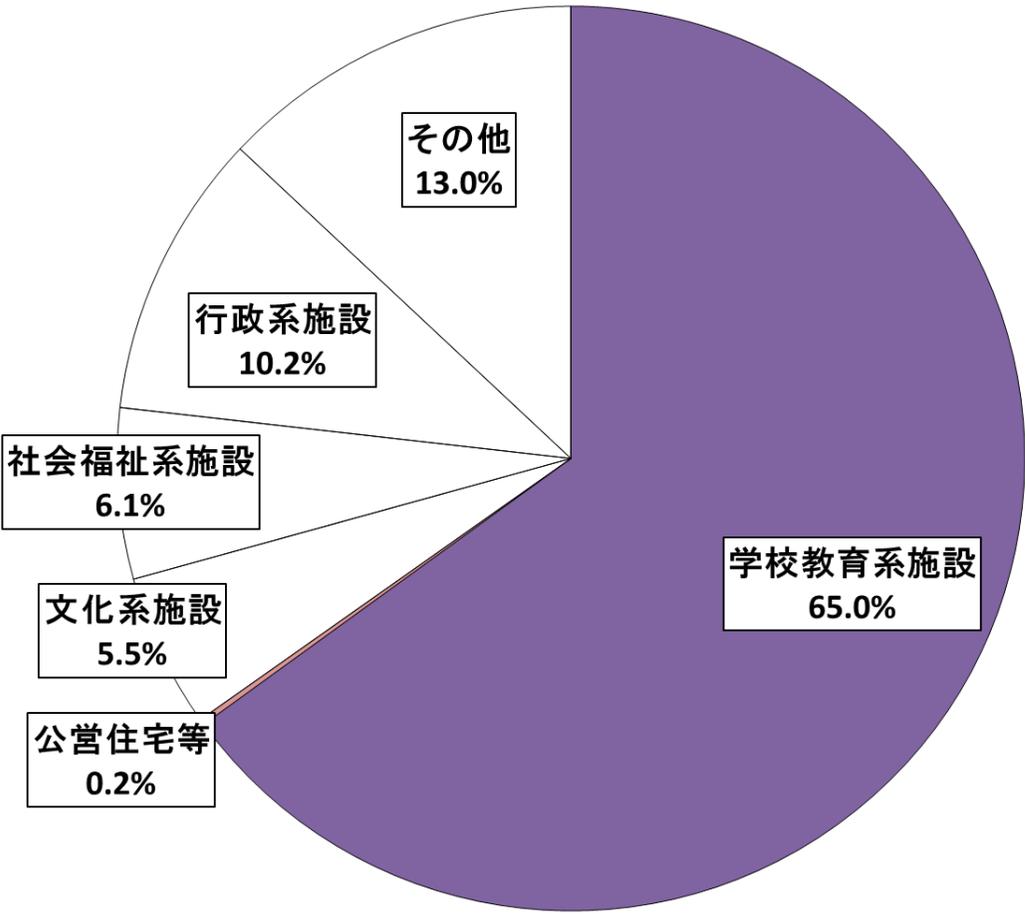
施設年代別整備状況



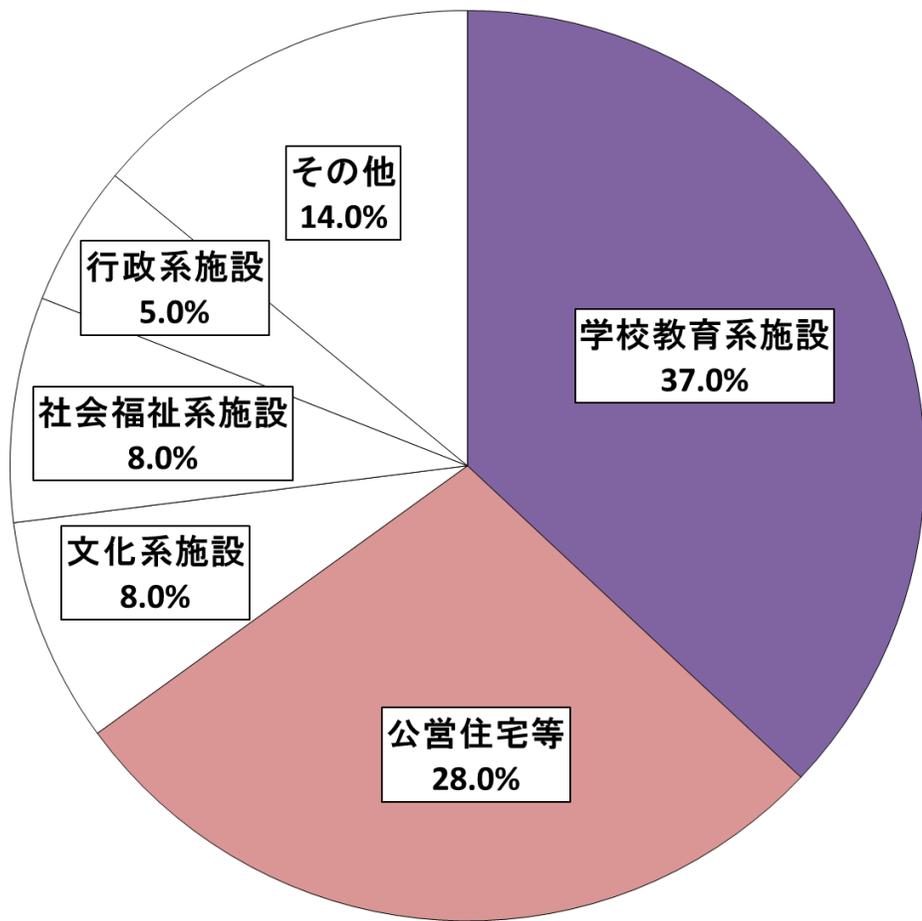
3. 公共施設の現状は？

公営住宅の占める割合が低く、学校教育系施設の占める割合が高い

施設類型別床面積



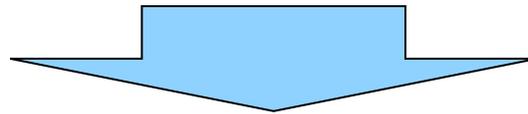
全国の用途別公共建築物



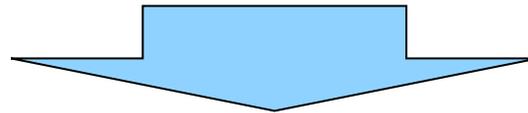
3. 公共施設の現状は？

全ての公共施設を維持し続けることは難しい

- ① これまでのように人件費・公債費が減少しないなか、社会保障経費が増加し続ける
- ② 生産年齢人口が減少し、高齢者人口が増加する
- ③ 施設を維持する年間コストが老朽化によって増加している
- ④ 公共施設の利用率は全体的に低い



公共施設に係る投資的経費※2の直近10年間の平均額は約7億円であったが、今後、全ての公共施設を更新していくには、年間平均として約12億円※3必要になる。
よって、更新時期を迎える公共施設を全て更新し、維持し続けることは難しい



公共施設の更新に係る投資的経費を約40%縮減する必要があることから、これに合わせ公共施設の床面積を縮減していかなければならない。

※2 道路、橋りょう、公園、学校の整備など社会資本の整備に要する経費

※3 四條畷市公共施設総合管理計画に基づく試算値

4. 公共施設再編に向けた取組み

基本方針となる公共施設等総合管理計画を策定

計画等の名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
第6次四條畷市総合計画	平成28年3月策定				
四條畷市都市計画に関する基本的な方針 (四條畷市都市計画マスタープラン)	平成29年3月策定				
四條畷市公共施設等総合管理計画	平成28年12月策定				
個別施設計画(公共建築物)			平成31年8月頃策定予定		
四條畷市学校再編整備計画(案)		四條畷市教育環境整備計画		平成30年11月末策定予定	
個別施設計画(インフラ)※道路、橋梁、公園				策定(改訂)予定	
四條畷市下水道事業経営戦略		平成29年3月策定			
四條畷住生活基本計画(住宅マスタープラン)					改訂予定

4. 公共施設再編に向けた取り組み

公共施設の老朽化状況を客観的に把握することを目的に劣化調査を実施

通し番号	棟番号	施設概要					建築年度 (西暦)	調査年度 (西暦)	経過年数	耐震診断	耐震補強	
		施設名	建物名	延床面積 (㎡)	地上階	地下階						構造
1	1	市民総合センター		5,011.13	3		RC	1981	2018	37	済	済
2	2	教育文化センター		743.29	2		RC	1975	2018	43	未	未
3	3	歴史民俗資料館	本館	492.08	2		RC	1985	2018	33		

圧縮強度の平均値 (N/mm ²)	コンクリート 中性化深さ (mm)				鉄筋目視			試算上の区分	配点	②劣化状況評価											
	屋外		屋内		調査箇所	鉄筋の腐食度	鉄筋のかぶり厚さ			躯体性能	①躯体性能										
	調査箇所	箇所ごとの平均値	調査箇所	箇所ごとの平均値							ア 屋上・屋根	イ 外壁	ウ 外部開口部	エ 外部その他	オ 内部(室内)	カ 外構	キ 電気設備	ク 給排水設備	ケ 空調設備	コ その他設備	小計(ア〜コ)
32.3	3	1.8						長寿命化 I	70	8	8	4	0.5	3.5	2	7	7	7	5	52.0	
35.1	3	2.7	2	0.4				長寿命化 I	67	2	8	10	0.5	2	5	7	7	4	5	50.5	
26.8	3	13.5						長寿命化 I	73	14	14	10	5	3.5	3.5	7	7	7	5	76.0	

(注)「公共施設等総合管理計画」の対象37施設のうち、建築して間もない施設(すてっぷ★なわて、四條畷市総合公園管理棟)、建築後、一定期間の経過により老朽化が明らかに認められる施設(忍ヶ丘あおぞらこども園(あおぞら棟)、市営南野住宅)、建物の用途が倉庫等である施設(学校施設の倉庫棟など)などは、本調査の対象施設には含まれていません。

4. 公共施設再編に向けた取り組み

市民公募(9名)と市民団体(11名)20名でワークショップを開催

ワークショップスケジュール



第1回	8/8	公共施設の課題 これからの公共施設 に対して求めるもの
第2回	8/22	分野ごとの 公共施設のあり方
第3回	9/19	
第4回	10/3	今後の公共施設の 再編案
第5回	10/10	

再編案では、大事な考え方や配置に関しての意見をいただきました

1班

再編の考え方

- ・人口減に応じて施設はコンパクトに
- ・各地区には、避難所を設ける
- ・自然を活かす施設は残す

配置の考え方

- ・西部市街地は国道163号とJR片町線で4分割し、田原の地域を加えた5地域で公共施設の配置を考える

2班

再編の考え方

- ・高齢者や子ども、外国人労働者も含めた交流

配置の考え方

- ・公共施設は、ある程度集中
- ・田原地域に関しては、西部市街地へ行かなくても完結する施設・機能を配置

3班

再編の考え方

- ・究極的な利便性の追求

配置の考え方

- ・公共施設は1か所に集約して完結
- ・防災倉庫は、地域に分散する

4班

再編の考え方

- ・複数の機能を単に一つの施設に集約するのではなく、四條畷の長い歴史と文化に特化した施設も必要

配置の考え方

- ・福祉関係施設は子どもや高齢者が行ける場所、自治会館の既存施設なども利用して、気軽に交流できる場所を広げていく

市民みなさんにお聞きしたいこと

① 公共施設は市域のどの辺りに立地していれば、よいと思いますか？

(例)・現在の市庁舎周辺に立地させるのがよい。・それぞれ現状の場所で問題ない。

② 公共施設を集約した方がよい施設、又は分散した方がよい施設はどのような施設ですか？

(例)・利用率が低い施設は集約したほうがよい。・避難所は、各地域に均等に分散する方がよい。

③ 規模や機能の見直しが必要と思う施設はどのような施設ですか？

(例)・市民ホールの規模は、もっと小さくてよい。・学校の空き教室を利用した会議室利用。

④ 公共施設の利用方法や手続き関係など、運営面でのご意見があればお聞かせください。

(例)・インターネットで使用予約できるようにして欲しい。・貸出時間単位を見直して欲しい。

⑤ 本日のお話を聞かれて、疑問に思ったことや提案したいことがありましたらお聞かせください。

